

おおくらだより

令和元年10月28日
北九州市立大蔵小学校
校長 藤井 英貴

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語	○ 漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う問題はできていますが、報告文を読んで情報を相手に分かりやすく伝える工夫をとらえるような読解力を要する問題への解答が十分ではありませんでした。
算数	○ 四則計算を選択する問題や、グラフを見て特徴や傾向を読み取る問題はできていますが、図形の面積の求め方を文章で説明するような思考力と表現力が重ねて問われるような問題への解答が十分ではありませんでした。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析	
【全国や福岡県の平均よりできている割合が高い設問】 ①「将来の夢や希望をもっていますか」 ②「朝食を毎日食べていますか」 ③「学校のきまりを守っていますか」	昨年度も③の割合が高かったので、規範意識が高いことが伺えます。朝食をきちんと食べることは学力向上のためにも良いことです。
【平均より低い設問】 ①「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」 ②「平日に家でどのくらい勉強をしますか」(塾や家庭教師も含む) ③「読書は好きですか」	家庭で計画的に勉強したり、本を読んだりする習慣をつけていく必要がありそうです。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 全校で漢字・計算・音読に取り組み、すべての学習の基礎・基本となる力を身につけさせる。
- 総合的な学習を核として、いろいろな教科・領域を関連付けて学習することで、多面的、多角的に考える力をつけていく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣が大切なことをいろいろな機会に啓発して保護者の理解を深める。
- 家庭学習の進め方について、学校でも十分に指導して家庭での学習習慣の定着を図る。